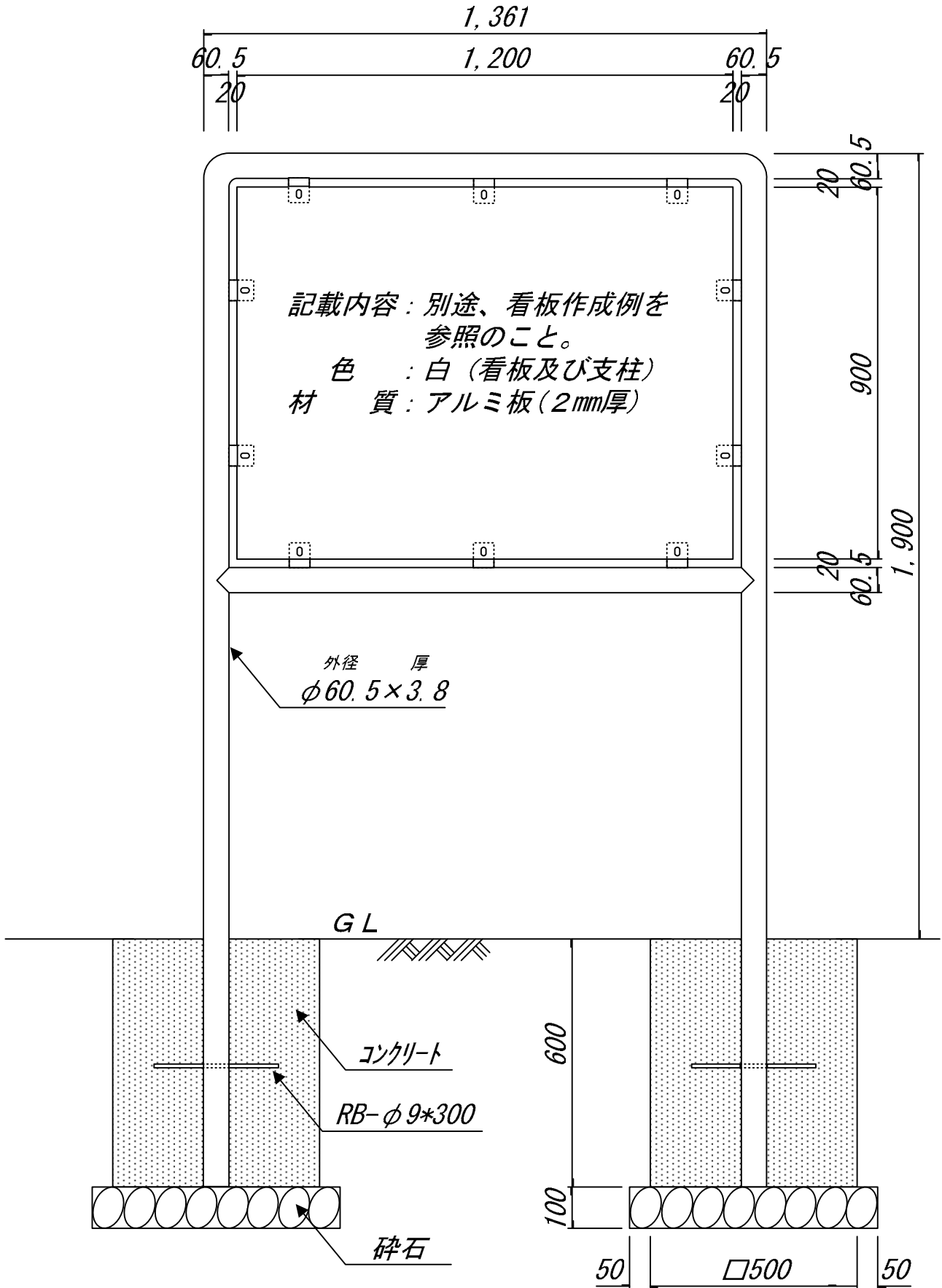


看板設置標準図

S=1/15

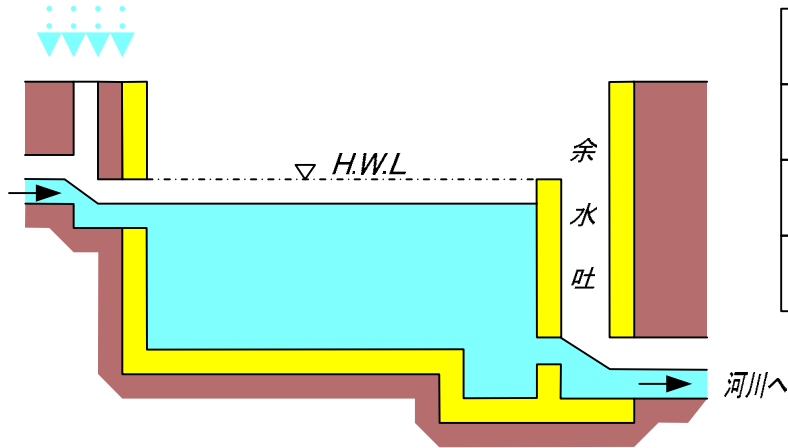


※本標準図により難しい場合は、河川管理課（協議指導担当）と協議のこと。

雨水調整池における看板作成例（オープン型式）

雨水調整池

この施設は、大雨のとき、雨水を一時貯留して下流へ少しずつ流し、河川の氾濫を防ぐ大切な役目をします。



施設概要	
貯留量	m ³
水深	m
池底面積	m ²

キケンですから中へはいらないでください。

管理者
TEL (許可申請者名)

連絡先 (実質管理者=管理実施
TEL 計画書の現場管理人)

看板の作成にあたっての注意事項

看板の大きさは、縦900mm×横1200mmを標準とします。ただし、周辺状況等によっては、担当者との相談の上、縦450mm×横600mmまで縮小することができるものとします。

看板は、上記を参考の上、アルミ板にインクジェット印刷を標準としますが、担当者との相談の上、風雨等に対し強度・耐久性のある材質に替えることができるものとします。

雨水調整池の名称は、担当者との相談の上決定して下さい。

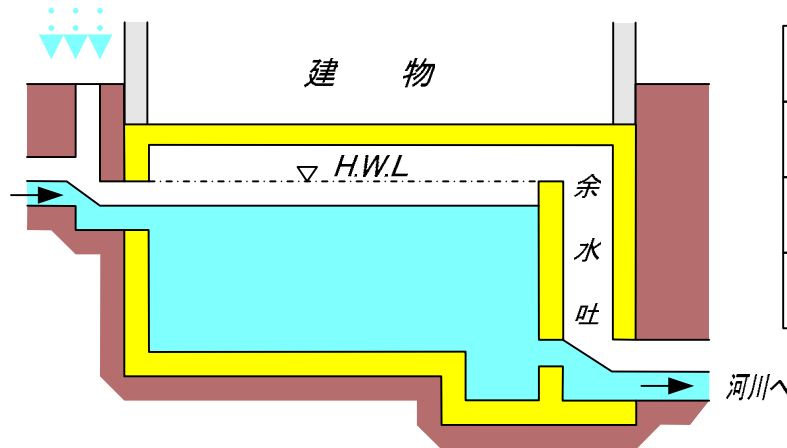
看板は、公道から見える場所に設置して下さい。なお、詳細については担当者との相談の上決定して下さい。

施設概要欄には、完了検査時に確定した数値を記入して下さい。

雨水調整池における看板作成例（建物地下型式）

雨水調整池

この建物の下の施設は、大雨のとき、雨水を一時貯留して下流へ少しずつ流し、河川の氾濫を防ぐ大切な役目をします。



施設概要	
貯留量	m ³
水深	m
池底面積	m ²

管理者
TEL (許可申請者名)

連絡先 (実質管理者=管理実施
TEL 計画書の現場管理人)

看板の作成にあたっての注意事項

看板の大きさは、縦900mm×横1200mmを標準とします。ただし、周辺状況等によっては、担当者との相談のうえ、縦450mm×横600mmまで縮小することができるものとします。

看板は、上記を参考のうえ、アルミ板にインクジェット印刷を標準としますが、担当者との相談のうえ、風雨等に対し強度・耐久性のある材質に替えることができるものとします。

雨水調整池の名称は、担当者との相談のうえ決定して下さい。

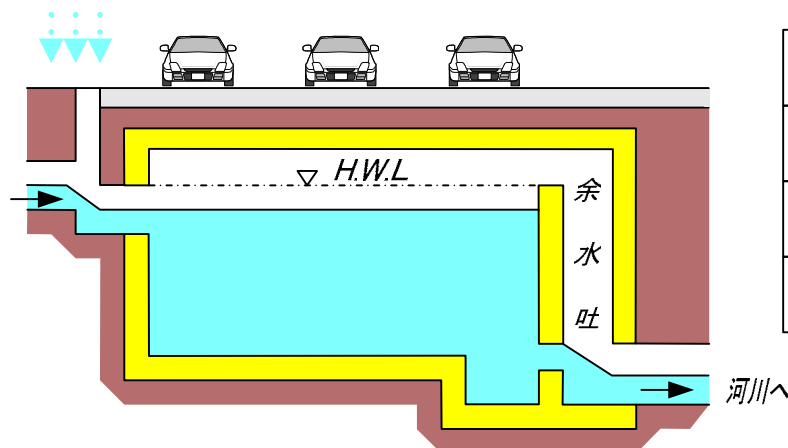
看板は、公道から見える場所に設置して下さい。なお、詳細については担当者との相談のうえ決定して下さい。

施設概要欄には、完了検査時に確定した数値を記入して下さい。

雨水調整池における看板作成例（道路地下型式）

雨水調整池

この道路の下の施設は、大雨のとき、雨水を一時貯留して下流へ少しずつ流し、河川の氾濫を防ぐ大切な役目をします。



施設概要	
貯留量	m ³
水深	m
池底面積	m ²

管理者
TEL (許可申請者名)

連絡先 (実質管理者=管理実施
TEL 計画書の現場管理人)

看板の作成にあたっての注意事項

看板の大きさは、縦900mm×横1200mmを標準とします。ただし、周辺状況等によっては、担当者との相談の上、縦450mm×横600mmまで縮小することができるものとします。

看板は、上記を参考の上、アルミ板にインクジェット印刷を標準としますが、担当者との相談の上、風雨等に対し強度・耐久性のある材質に替えることができるものとします。

雨水調整池の名称は、担当者との相談の上決定して下さい。

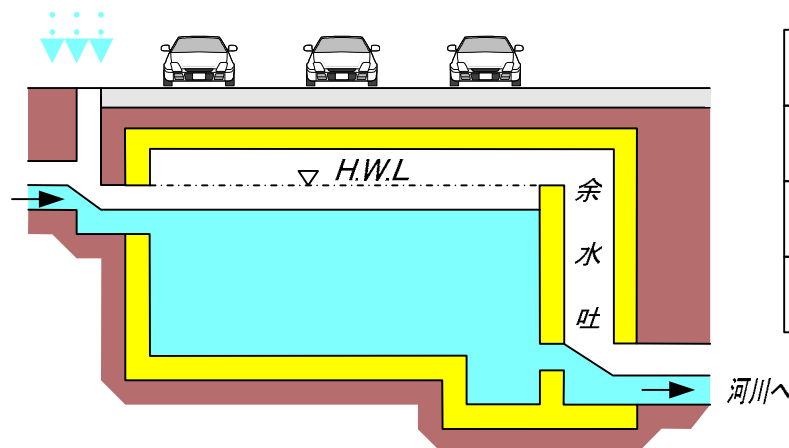
看板は、公道から見える場所に設置して下さい。なお、詳細については担当者との相談の上決定して下さい。

施設概要欄には、完了検査時に確定した数値を記入して下さい。

雨水調整池における看板作成例（駐車場地下型式）

雨水調整池

この駐車場の下の施設は、大雨のとき、雨水を一時貯留して下流へ少しずつ流し、河川の氾濫を防ぐ大切な役目をします。



施設概要	
貯留量	m ³
水深	m
池底面積	m ²

管理者
TEL (許可申請者名)

連絡先 (実質管理者=管理実施
TEL 計画書の現場管理人)

看板の作成にあたっての注意事項

看板の大きさは、縦900mm×横1200mmを標準とします。ただし、周辺状況等によっては、担当者との相談の上、縦450mm×横600mmまで縮小することができるものとします。

看板は、上記を参考の上、アルミ板にインクジェット印刷を標準としますが、担当者との相談の上、風雨等に対し強度・耐久性のある材質に替えることができるものとします。

雨水調整池の名称は、担当者との相談の上決定して下さい。

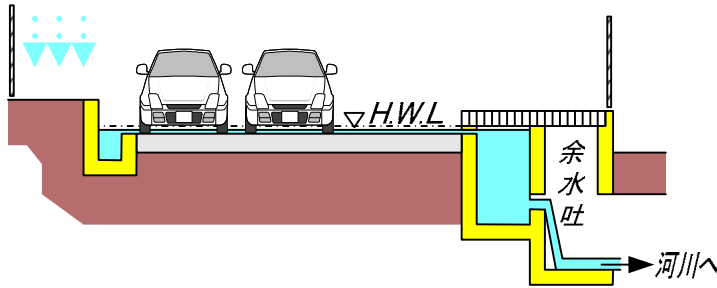
看板は、公道から見える場所に設置して下さい。なお、詳細については担当者との相談の上決定して下さい。

施設概要欄には、完了検査時に確定した数値を記入して下さい。

雨水調整池における看板作成例（表面貯留型式）

雨水調整池

この駐車場は、大雨のとき、雨水を一時貯留して下流へ少しずつ流し、河川の氾濫を防ぐ大切な役目をします。



施設概要	
貯留量	m ³
水深	m
池底面積	m ²

管理者
TEL (許可申請者名)

連絡先 (実質管理者=管理実施
TEL 計画書の現場管理人)

看板の作成にあたっての注意事項

看板の大きさは、縦900mm×横1200mmを標準とします。ただし、周辺状況等によっては、担当者との相談の上、縦450mm×横600mmまで縮小することができるものとします。

看板は、上記を参考の上、アルミ板にインクジェット印刷を標準としますが、担当者との相談の上、風雨等に対し強度・耐久性のある材質に替えることができるものとします。

雨水調整池の名称は、担当者との相談の上決定して下さい。

看板は、公道から見える場所に設置して下さい。なお、詳細については担当者との相談の上決定して下さい。

施設概要欄には、完了検査時に確定した数値を記入して下さい。